

令和4年度 事業報告

しごと 部会

部会長 坂口 智教 _____ 副部会長 小林 弘明 _____
 運営委員会担当者 綿貫 好子 ケアマネ連絡会担当者 青木 麻都香 伊藤 清孝
 長野市障害福祉課担当者 前島 佑季子 _____

1、年間テーマ

テーマ「はたらく」

サブテーマ「障害者雇用率のアップ」「支援員のスキルアップ」「就労アセスメントの質の向上」

2、部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
6	21	吉田公民館 (ノルテナがの 大教室	39人	令和4年度顔合わせ及び 年度計画の共有	企業懇談会グループ ・雇用フェアラムと合同開催に ついての検討 スキルアップグループ ・学習会実施に向けての課題と 開催方法 工賃アップ及び支援員定着 グループ ・イベント開催のない中での 販売方法
9	15	長野市 芸術館リサイ タルホール	長野県内 オンライン 参加 100人 北信 32人 東信 24人 中信 25人 南信 19人 会場参加 46名	「働く」から考える共生社会みんな が主役 みんなでつくる 「共に働く ～すべての職場に障がい者雇用を～	・障がい者雇用優良事業所等 表彰 ・取り組み事例の紹介 ・パネルディスカッション

令和4年度 事業報告

3、機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- ・第7回 企業懇談会を障がい者雇用優良事業所等表彰と合同で行った。

4、課題について

(1)主な検討課題

- ・大規模災害時の支援体制の連携
- ・企業と障害者を結びつける方法
- ・年を重ねた障がい者が親の介護を担っている。
年を重ねた親が、年齢が高い障がい者の生活全般を補っている。
- ・引きこもり対策。

(2)検討の目的と結果(現状)

- ・コロナ禍での支援体制をどのようにしていくか？
- ・利用者及び職員の安全面を確保しながらの支援
- ・しごと部会のみならず、多岐にわたるため高齢者のケアマネや包括を含めた障害福祉、高齢者福祉での連携が必要ではないか？
- ・企業側に障害者が働けることを知っていただく
- ・第7回企業懇談を ZOOM を活用して行い全県で約 30 社の新規企業に参加して頂いた。令和5年度はフルスペック開催にて検討。

(3)引き続き検討が必要とされる課題

- ・大規模災害時の支援体制の連携
- ・企業と障害者を結びつける方法
- ・年を重ねた障がい者が親の介護を担っている。
- ・年を重ねた親が、年齢が高い障がい者の生活全般を補っている。
- ・引きこもり対策。

(4)部会の運営体制について

- ・集団で集まるという事ができず、定期的に集まる機会が取りづらくやりづらい場面があった。
- ・執行部会員の入れ替わりが少なく、次世代につながりにくい。

令和4年度 事業報告

5、総括(1年間を振り返って)

- ・感染拡大の微妙な時期では合ったが、企業懇談会を継続できたことは来年度につなげる事が出来た。
- ・コロナ禍の前は、毎月集合して情報共有しながら行っていたため市場での温度差を少なく出来ていたが、各事業所間での温度差が広がってきているように思える。